

イエス団報

賀川先生を受け継ぐ

理事 齊藤 宏



賀川豊彦先生（以後「先生」と記す）の召天四六年の今日、先生の言葉や行動をふり返りながら二〇世紀の先生の信仰、思想、実践を二一世紀の今、どのように受け継ぐべきかを常に考えさせられています。

私は、先生の晩年、七年間（一九五三〜一九六〇年）、先生に依頼された教会と保育園の活動報告のため、毎月一回、そこが先生の住居でもあった世田谷・上北沢の雲柱社の法人事務所に伺いました。また、三〜四回、教会の伝道集会にお出でいただきました。

伝道集会の説教の聖書箇所をお聞きした時、「ルカ伝言」（ルカによる福音書四章一八〜一九節）と大声で言われました。それは、

イザヤ書の預言に基づくイエスの宣言です。「主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために、主がわたしに油を注がれたからである。主がわたしを遣わされたのは、捕らわれている人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由にし、主の恵みの年を告げるためである。」との言葉を先生は宣教の使命と課題とされたのです。そして、イエスの宣教に疑問をいだいた先駆者ヨハネの遣わした二人の弟子に対してイエスの言われた言葉を具体的実践の使信としたのです。

「行って、見聞きしたことをヨハネに伝えなさい。目の見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、重い皮膚病を患っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生き返り、貧しい人は福音を知らされていく。わたしにつまづかない人は幸いである。」

（ルカ福音書七章二三〜三三節）
ここに言われている六つの事柄を立てて行おうとしたのです。先生

好量者
木村集信
黒田行所
◆発行所
神戸市中央区
吾妻通
5-5-20
社会福祉法人
イエス学校法人
イエス

TEL: 078
221-9565
FAX: 078
221-9566

が正統的福音信仰に立脚していたことは、時々私が耳にした言葉で明らかです。「僕は、三位一体の神を信じるよ。僕は、社会的福音でない。僕はニューテスタメンタリスト（新約聖書主義者）だ」と告白的に断言されたことを思い出します。また、先生は信仰が実践と離れてしまうことには終生批判し警鐘を鳴らされたのです。実践を伴わないし、伴わないように見えたバルト神学に対して、「バルトは感情論理学だ」と言われました。私は必ずしもそうでないと思っていますが、日本のバルト受容の問題点を指摘しているとも思います。

先生の子供や障害者への関わりについても忘れられないことがあります。紙幅が尽きてしまいましたので割愛します。

先生の働きは具体的実践として受け継ぐべきことと、先生が二〇世紀の歴史や思想の影響を受けた歩みも認識しながら、二一世紀の歩みも続けてゆきたいと願うもの

二〇〇五年度 法人の動き

● 社会福祉法人の動き

- 1 理事会の報告（定員11名、現員11名）
今年度は6回の理事会を開催し、37の議案について協議。
① 5月20日、04年度の事業報告、決算など7議案
② 8月31日、施設長人事、賀川記念館再生プロジェクトの件など7議案
③ 10月21日、厚生労働省監査報告、人事委員会の件など7議案
④ 11月24日、定年規程施行、施設長人事の件など3議案
⑤ 2月16日、定款細則改定、施設長人事の件など6議案
⑥ 3月9日、05年度補正予算、06年度事業計画、予算など7議案
- 2 評議員会の報告（定員27名、現員22名）
今年度は2回の評議員会を開催し、7の議案について協議。
① 5月20日、04年度の決算・事業報告など5議案
② 3月9日、05年度補正予算、06年度事業計画・予算など3議案
- 3 施設長会議の報告（現員30名）
今年度は3回の施設長会議を開催し、6の議案について協議。
① 5月19日、04年事業報告、決算など2議案
② 10月27日、厚生労働省監査報告、法務研修など2議案
③ 3月8日、05年度補正予算、06年度事業計画、予算など2議案
- 4 経営会議の報告（5回）
今年度は5回の経営会議を開催し、30の議案について協議。
① 4月12日、定年規程、豊島職員住宅の件など7議案
② 7月28日、運営費の弾力化、役員・評議員改選の件など7議案
③ 10月13日、厚生労働省監査結果報告、人事委員会の件など5議案
④ 11月8日、賀川記念館再生プロジェクト、運営費の弾力化の件など5議案
⑤ 1月19日、定款施行細則改定、事業計画の件など3議案
⑥ 3月1日、役員・評議員改選、理事長・常務理事手当の件など3議案
- 5 本部事務局拡大会議（3回）
今年度は3回の本部事務局拡大会議を開催し、22の議案について協議。
① 6月14日、豊島職員住宅、定年規程施行の件など8議案
② 10月7日、人事委員会、菊水学園跡地の件など3議案
③ 1月10日、定年規程の施行、役員・評議員の改選など11議案
- 6 企画委員会の報告（5回）
今年度は5回の企画委員会を開催し、22の議案について協議。
① 4月22日、新任研修評価、新任フォローアップ研修の件など5議案
② 7月1日、新任フォローアップ研修評価、施設幹部職員研修の件

など5議案

③10月6日、施設幹部職員研修、評議員会の件など3議案

④12月1日、施設幹部職員研修評価、新任研修の件など4議案

⑤2月23日、個人情報保護法、定年延長の件など6議案

7 人事委員会の報告

11月15日に開催し、後任施設長人事について協議。

8 編集委員会の報告

イエス団報 8号を11月20日に発行。

9 研修会の報告

今年度は理事長、常務理事、企画委員のご協力を得て、以下の研修会を開催しました。

①第10回 会計研修 1月17日 勤労会館 (36名参加)

②新任職員フォローアップ研修 6月25、26日 Y M C A 六甲研修センター (24名参加)

③施設幹部職員研修 11月14、15日 富士ゼロックススペースアルファ (25名参加)

④新任職員研修 3月21、22日 コーポラージュ協同学苑 (60名参加)

10 施設長人事

05年4月18日付 四貫島友隣館 小川佐和子氏就任

05年4月18日付 天使保育園 嶋田良介氏就任

05年4月18日付 天使保育園北分園 柳本英里氏就任

06年1月1日付 豊島ナオミ荘 萩原 献氏就任

06年4月1日付 賀川記念館・友愛幼稚園 高田裕之氏就任

06年4月1日付 聖浄保育園 谷口浩美氏就任

06年4月1日付 空の鳥幼稚園 平田 義氏就任

11 記念式典

・05・10・1 四貫島友隣館 創立80周年記念式

・05・11・13 ぶどうの木保育園 創立30周年記念式

・06・2・25 神戸保育専門学校 創立35周年記念式

●学校法人の動き

1 理事会の報告(理事定員8名、現員8名)

05年度は4回の理事会を開催、12の議案について協議。

①5月20日、04年度決算、事業報告など2議案

②8月31日、05年度園児募集について、運営委員会の報告など4議案

③2月16日、寄付行為の変更について、寄付行為施行細則についてなど3議案

④3月9日、06年度事業計画、予算など3議案

2 評議員会の報告(評議員定員17名、現員17名)

05年度は2回の評議員会を開催、5の議案について協議。

①5月20日、04年度決算、事業報告など2議案

②3月9日、06年度事業計画、予算など3議案

3 運営委員会の報告

木村量好理事長、村山盛嗣委員、奥田和弘委員、小西孝彦委員、中村 清委員、長谷川進一郎委員、長谷川其枝委員、吉田 撰委員

7月5日、10月18日、2月21日 3回開催

各ブロックの動き

【兵庫ブロック】

05年度内に三回の施設長会を行い、相互の情報交換と、イエス団としての共通課題を取り上げながら、各施設がより協力した働きができるよう、施設長同士のコミュニケーションを図っている。

(第一回)

05・6・10 (賀川記念館にて)

各施設の中・長期五ヶ年計画の取り組みについて、計画冊子に基づき、各施設長から説明がなされた。続いて本部事務局より、賀川豊彦献身百年記念事業について、先に行われた事業準備会の報告及び趣意書(案)の説明と協力要請があった。

(第二回)

05・11・10 (真愛ホームにて)

今回の議題としては①本部から献身百年記念事業実行委員会の報告と、あわせてイエス団としての新賀川記念館構想の紹介があり、内容について話し合われた。②各施設から中長期計画中の単年度評価について報告を行った。③真愛ホームから苦情解決事例の紹介があり、各施設とも共通する重要課

題であるので、今後はブロック会議実施時に併せて第三者委員報告会(年一回)を開催することを決めた。

(第三回)

06・2・10 (杉の子保育園にて)

ブロック各施設の中・長期計画の内の05年度分について①キリスト教社会福祉施設としての取り組み、②イエス団憲章への取り組み、③人材育成への取り組み、④施設運営改善への取り組み等の実施状況について、それぞれ説明がなされた。特に神戸保専からは今年度末の閉校に伴い、(1)全学生を無事卒業させること(2)全職員をスムーズに退職、再就職させること(3)施設をスムーズに本部へ引き渡すこと、の三つが達成目標であると説明された。なお会議後に廣瀬神戸保専学院長への感謝送別会を行った。

【四国ブロック】

【坂出育愛館】

06年11月現在168名の園児と34名の職員が在籍している。今年度は職員構成も若返り、世代交代している。時代は移りゆくとも創立の精神を失わず、様々な地域や保育のニーズに応え続けていく施設でありたい。

【豊島神愛館】

香川県下で唯一の乳児院です。昭和22年に開設しました。初代館長吉村静枝先生が孤児8人を連れてミルクを求めて豊島に移住した



のがきっかけです。

豊島神愛館は賀川豊彦先生の精神を継承し、『自分を愛するようになあなたの隣人を愛しなさい』(マタイ22:39)を施設の使命として、現在乳幼児30名を養育しています。

【光の子保育園】

06年8月に日本キリスト教保育所同盟の現地事務局を担当し、保育園挙げて大会運営に当たった。一つのことを成し遂げるための企画、準備、体制作りなど若い職員にとって多くのことを学んだ研修となった。

園児数は百十一名。職員の体制も11月でやっと落ち着いた。

【大阪ブロック】

【馬見芳村保育園】

06年9月1日・2日の二日間で日本キリスト教保育所同盟大阪地区の施設長研修が当保育園と奈良ワシントンホテルプラザで講師にホリ教育研究所の植木恵美子氏を迎え「子どもを守るための人材管理、園長・管理職の役割は何か」と言うテーマで行われました。

【宇山光の子保育園】

06年3月1日・2日に国際環境基準ISO14001:2004の認証審査をSGSジャパンの認証機関で受審し認証されました。12月に第三者評価の受審を申請しています。

(第3面上段に続く)

(第2面下段より続き)
「くずは光の子保育園」

06年11月28日・29日の二日間、第三者評価を大阪府公認社会福祉協議会の機関で審査を受審しました。審査結果は07年1月頃出る予定で公開は3月にする予定です。

【東大阪福祉事業】

東大阪市と上六万寺区画整理事業の事前協議がスタートしました。その工事に先立ち測量・文化財調査等を実施しています。又、乳児院の基本設計にも着手しています。

【京都ブロック】

イエス団の中で唯一、障がい児・者関連の事業を展開している京都ブロックでありますので、今回は各施設の紹介のスペースをいただきました。稀代の悪法である「障害者自立支援法」をめぐる動きについてお知らせいたします。

多くの反対の声があがっていたにもかかわらず、06年10月、数の論理で強引に成立させた「障害者自立支援法」が今年の4月より施行され、この10月から本格実施となりました。

国は、障がい者の地域での自立生活を支えることを目的にこの法律を施行したとされていますが、その内実は、自立支援どころか、自立阻害であります。国の財政負担抑制が再優先され、その分を利用者負担増や、事業者の報酬削減などで補おうとしているのです。「障害者自立支援法」の問題点をあげていけばキリがありません。

要するに端的に言えば、これまで障がい者福祉で大事にされてきた「ノーマライゼーション」や「自己選択・自己決定」「自立」の考え方がこの法律によって変えられてきているということが根本的におかしいことなのです。

京都ブロックの施設でも、深刻な状況に陥っています。利用者にとつては、負担が増し、事業所にとつては、報酬が減らされるといふ事態になっています。特に、児童福祉施設でありました、知的障がい児通園施設の「空の鳥幼児園」もこの10月から「自立支援法」の枠に入れられてしまいました。

私たちは、制度や法律がどのようになろうとも支援を必要としている障がい児・者とその家族に寄り添い共に歩んでいく所存です。しかし20%減は痛い！

(文責・平田 義)

◆書籍のご案内◆

東京・本所賀川記念館で館長を務められた雨宮栄一氏による賀川豊彦研究の3部作が完成し、この度、新教出版社より出版されました。賀川先生をより客観的に検証し分析した書籍です。賀川理解を深めるためには、絶好の参考文獻です。購入希望は、イエス団本部にお申し出ください。



「青春の賀川豊彦」(2003)
「貧しい人々と賀川豊彦」(2005)
「暗い谷間の賀川豊彦」(2006)

新任職員フォローアップ研修会

昨年引き続き六甲山で開催

05年6月25日、26日、六甲YMC A研修センターにおいて、第2回新任職員フォローアップ研修会が、参加者25名、講師2名、理事長とスタッフ5名で開催されました。この研修会は新任研修会の後、継続研修を持っていないことと、特に4～5年目の職員に対して、もう一度自分たちのミッションを確認し、仲間と共に語り合える時間を持つために04年度よりスタートした研修です。新任研修と同じく、長尾文雄先生に進めていただき、自分の今を見つめ、現場での体験を共有することができました。特にロールプレイングの時間には、それぞれの施設の課題を出し合い、参加者がそれぞれの役割を担うことで気持ちを感じて、一人ひとりの立場で考えることができました。新任研修に続き、2回目の同期生ということでも横の連絡を取り合い、イエス団の仲間としてがんばってください。



施設幹部職員研修会

新規研修プログラムが始まりました

05年11月24日、25日、富士ゼロックス総合教育研究所スペースアルファ神戸において、第1回施設幹部職員研修会が、参加者23名、講師3名、理事長、常務理事とスタッフ8名、総勢36名で開催されました。この研修会は、各施設で施設長を補佐する立場にあるものが、キリスト教社会福祉を実践し、賀川豊彦の精神を再度学ぶために今年よりスタートした研修です。プログラムは大きく分けて三つ。賀川豊彦研究(鳥飼慶陽先生)、管

理者の視点(牧田 稔施設長)、キリスト教社会福祉の実践(上内鏡子先生)という分担でお願いしました。参加者には事前レポート、事後レポートを課し、内容についての研修でした。特にキリスト教社会福祉の実践の講義では、参加者それぞれのキリスト教との出会い、関わり、想いを語る時間がありました。お疲れ様でした。次代のイエス団を担う皆様の活躍を期待しています。



イエス団の施設 ⑬
隣保事業

賀川記念館



賀川記念館は、賀川先生の献身50年を記念して63年完成した地域福祉センターです。運営理念は、先生の「セツルメント事業の根本原理は人格交流運動である」という考えにあります。記念館の活動から神戸で初めての学童保育や老人給食サービスが誕生しました。現在では、在日高齢者識字学級、障碍をもつ青年の余暇支援、在宅高齢者訪問、障碍児のタイムケア事業、各種文化教室、各種相談なども行っています。

- ◎ 住所／神戸市中央区吾妻通5-2-20
- ◎ 創立／一九六三年二月
- ◎ 職員／一四名
- ◎ 施設長／高田 裕之

◆◆◆DATA◆◆◆

最寄の交通機関：JR・阪急・阪神三宮駅下車、東へ徒歩13分
TEL:078-221-3627 FAX:078-231-2891

また、賀川記念館を母体として、96年には特別養護老人ホーム「真愛ホーム」「東部高齢者介護支援センター」を生み出しました。97年からは、イエス団教会、本部、賀川記念館、真愛ホーム、友愛幼児園（二宮児童館含む）で、イエス団地域福祉協議会を組織し、総合力にて地域の支援を行っています。

09年度に全国で賀川豊彦献身一〇〇年行事が開催されますが、その一環として、現在の土地で賀川記念館の建替えを行います。

新記念館構想では、中心に教会を置き、会館全体の働きが教会の働きであると位置付けます。従来の事業以外に、先生の活動の発祥の地として、関連する資料の収集や先生の思想と実践を通し、今、先生がおられたら、社会をどのようにご覧になり、どのような実践をされるか検証し、より良い社会の形成の道標になるよう、これを発信します。また、イエス団本部の機能の充実のため臨床福祉研究所の設立、職員研修・会議に快適な空間や最新のコンテンツを提供します。

賀川先生の精神継承のために、よき器が備えられますようイエス団に連なる皆様方のご協力を切にお願いいたします。

イエス団の施設 ⑭
保育所

天使保育園

- ◎ 住所／大阪市此花区春日出中一丁目十五ノ十三
- ◎ 創立／一九二七年十月
- ◎ 定員／九十名
- ◎ 職員／一四名
- ◎ 施設長／嶋田 良介



◆◆◆DATA◆◆◆

最寄の交通機関：JR西九条→市バス春日出下車徒歩3分
TEL:075-622-8545 FAX:075-622-8546

天使保育園は一九二五年十月に吉田源治郎を中心に「日本労働者伝道会社・四貫島セツルメント」として始められ、一九二七年には保育園の前身である天使保育学校が開設されました。その後三度にわたる大型台風や浸水そして終戦を向かえましたが、小川秀一・小川居両名の尽力により訓練を乗り越えながら、地域のニーズに答えて天使保育園北分園と天使ベビーセンターの設立へと至りました。

昨年の四月には小川居召天という悲しい出来事もありましたけれども十月には創立八十周年記念会も無事開催され、職員一同歴史の重みや与えられた役割を再認識する機会となりました。

現在此花地域は少子高齢化の波が押し寄せてきており、待機児対策などは無縁の話で、少しずつ定員割れが進んできています。園としても保育内容の充実が必須で、神様の恵みにいつも感謝をしながら、次世代を担う子どもたちの心と体の健全な成長を育み、地域の子育て支援や一時・休日保育や障害児保育、異年齢保育などにも力を入れ、より一層地域に根ざした働きができるように願っています。

《編集後記》

※子どもにまつわる悲しい事件や事故の報道が連日のようになされています。賀川先生が生きておられたら、今のこの社会の動きをどのようにとらえ、どう行動されたでしょうか？ (信)